



2026年11月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月14日

上場会社名 株式会社C a S y 上場取引所 東
コード番号 9215 URL <https://corp.casy.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役CEO 兼CFO （氏名）加茂 雄一
問合せ先責任者 （役職名）Corporate Design （氏名）三谷 遼斗 TEL 050(3183)0299
Div. General Manager
半期報告書提出予定日 2026年7月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年11月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年12月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期中間期	1,033	15.1	△6	—	△5	—	△5	—
2025年11月期中間期	898	—	13	—	16	—	9	—

（注）包括利益 2026年11月期中間期 △5百万円（－％） 2025年11月期中間期 9百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期中間期	△2.85	—
2025年11月期中間期	5.19	5.15

（注）当中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期中間期	670	269	40.1
2025年11月期	703	274	39.0

（参考）自己資本 2026年11月期中間期 269百万円 2025年11月期 274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年11月期	—	0.00			
2026年11月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年11月期の連結業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,124	10.5	△133	—	△139	—	△139	△74.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年11月期中間期	1,892,000株	2025年11月期	1,892,000株
② 期末自己株式数	2026年11月期中間期	19,101株	2025年11月期	19,101株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年11月期中間期	1,872,899株	2025年11月期中間期	1,891,802株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当社グループは「大切なことを、大切にできる時間を創る。」をミッションとし、家事支援サービスを中心とした、サービス実施以外オンラインで完結できる、暮らしの中の時間を創るサービスのマッチング・プラットフォームである「CaSy」を運営しております。当社グループは、継続的なシステムの改善や、キャストの品質管理体制の強化を通じて、利便性が高く、コストパフォーマンスの高い安心して利用できる家事支援サービスを提供することで、順調にサービス件数を伸ばしてまいりました。

当社グループが事業を展開する家事支援サービス市場では、共働き世帯の増加や、世帯内での家事の分担や外部へのアウトソースに対する価値観の変化を背景に、お客様からの需要は安定して増加を続けており、直近では、主に少子化対策を背景として、行政の家事支援事業への補助拡充が実施・計画され、市場拡大が更に後押しされております。

このような状況の下、当中間連結会計期間においては、事業成長を牽引する供給力の強化に注力しております。

当中間期では、前期から計画していた国家戦略特別区域の制度を活用した外国人家事支援人材（ジョリーキャスト）の受け入れを本格化し、5月よりサービス提供を開始いたしました。

また、行政との連携においては、東京都内を中心とした各自治体との提携を着実に推進しており、4月には新たに武蔵野市の事業へ参入し、家事支援サービスの拡充を図っております。

さらに、前期に子会社化した株式会社すっきりマイスターによるハウスクリーニングサービスの強化や、株式会社サンジュと連携した家事支援サービスの提供エリアの拡大など、グループシナジーの発揮に努めております。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は1,033,710千円（前年同期は898,260千円、前年同期比15.1%）となりました。また、営業損失は△6,758千円（前年同期は営業利益13,217千円）、経常損失及び税金等調整前中間純損失は共に△5,818千円（前年同期は経常利益及び税金等調整前中間純利益16,185千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は△5,337千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益9,810千円）となりました。

なお、当社グループは家事支援サービス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載は行っておりません。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は464,868千円となり、前連結会計年度末に比べ、44,479千円減少しました。その主な内訳は現金及び預金287,777千円、売掛金146,353千円です。

また、当中間連結会計期間末における固定資産は205,325千円となり、前連結会計年度末に比べ、10,916千円増加しました。その内訳は有形固定資産125千円、無形固定資産148,448千円、投資その他の資産56,751千円です。

この結果、当中間連結会計期間末における総資産は670,193千円となり、前連結会計年度末に比べ、33,562千円減少しました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は272,191千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,375千円減少しました。その主な内訳は買掛金91,402千円、1年内返済予定の長期借入金50,360千円、未払金68,456千円です。

また、固定負債は128,970千円となり、前連結会計年度末に比べ、25,850千円減少しました。その内訳は、長期借入金128,970千円です。

この結果、当中間連結会計期間末における負債合計は401,161千円となり、前連結会計年度末に比べ、28,225千円減少しました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は269,032千円となり、前連結会計年度末に比べ、5,337千円減少しました。その主な内訳は、資本金50,000千円、資本剰余金556,252千円、利益剰余金△319,541千円です。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、287,777千円となり、前連結会計年度末に比べ、63,423千円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、営業活動により支出した資金は6,962千円（前年同期は17,563千円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失の計上5,818千円、売上債権の増加10,830千円、未払消費税等の減少8,800千円が発生したものの、減価償却費の計上9,649千円、のれん償却額の計上8,716千円が発生したこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、投資活動により支出した資金は23,480千円（前年同期は16,201千円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出23,480千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、財務活動により支出した資金は32,980千円（前年同期51,221千円の収入）となりました。これは長期借入金の返済による支出24,649千円、短期借入金の返済による支出8,331千円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年11月期の業績予想につきましては、2026年2月26日の（訂正・数値データ訂正）「「2025年11月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当中間連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	351,201	287,777
売掛金	135,522	146,353
仕掛品	—	4,640
その他	22,624	26,097
流動資産合計	509,348	464,868
固定資産		
有形固定資産	167	125
無形固定資産		
のれん	80,556	71,840
ソフトウェア	59,233	76,607
無形固定資産合計	139,789	148,448
投資その他の資産	54,451	56,751
固定資産合計	194,408	205,325
資産合計	703,756	670,193
負債の部		
流動負債		
買掛金	88,908	91,402
短期借入金	8,331	—
1年内返済予定の長期借入金	49,159	50,360
未払金	57,959	68,456
未払法人税等	3,295	1,744
その他	66,912	60,227
流動負債合計	274,566	272,191
固定負債		
長期借入金	154,821	128,970
固定負債合計	154,821	128,970
負債合計	429,387	401,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	556,252	556,252
利益剰余金	△314,203	△319,541
自己株式	△17,678	△17,678
株主資本合計	274,369	269,032
純資産合計	274,369	269,032
負債純資産合計	703,756	670,193

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
売上高	898,260	1,033,710
売上原価	560,087	653,002
売上総利益	338,173	380,708
販売費及び一般管理費	324,955	387,466
営業利益又は営業損失(△)	13,217	△6,758
営業外収益		
受取利息	165	309
補助金収入	3,143	400
その他	750	1,897
営業外収益合計	4,059	2,606
営業外費用		
支払利息	1,091	1,587
その他	—	79
営業外費用合計	1,091	1,667
経常利益又は経常損失(△)	16,185	△5,818
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	16,185	△5,818
法人税、住民税及び事業税	6,374	△481
法人税等合計	6,374	△481
中間純利益又は中間純損失(△)	9,810	△5,337
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	9,810	△5,337
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
中間包括利益	9,810	△5,337
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	9,810	△5,337
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	16,185	△5,818
減価償却費	8,060	9,649
のれん償却額	1,123	8,716
受取利息及び受取配当金	△165	△309
支払利息	1,091	1,587
補助金収入	△3,143	△400
売上債権の増減額(△は増加)	4,434	△10,830
棚卸資産の増減額(△は増加)	—	△4,640
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,541	2,494
未払金の増減額(△は減少)	3,336	8,552
未払費用の増減額(△は減少)	△2,490	△2,162
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19,866	△8,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	2,000
その他の資産の増減額(△は増加)	△20,386	△3,542
その他の負債の増減額(△は減少)	△2,871	721
小計	△19,233	△2,785
利息及び配当金の受取額	165	309
利息の支払額	△1,091	△1,587
補助金の受取額	3,143	400
法人税等の支払額	△546	△3,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17,563	△6,962
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,959	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,983	—
無形固定資産の取得による支出	△10,258	△23,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,201	△23,480
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,000	—
短期借入金の返済による支出	△12,492	△8,331
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,433	△24,649
自己株式の取得による支出	△3,852	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,221	△32,980
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,456	△63,423
現金及び現金同等物の期首残高	324,359	351,201
現金及び現金同等物の中間期末残高	341,816	287,777

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは、家事支援サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)

当社グループは、家事支援サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。